

第5章 資料

2 男女共同参画について

問16 子どもを産み育てやすくするためには、どんな支援があったらよいと思いますか。
あなたのご意見をご記入ください。

- ・ 医療費と子育て期間への公的助成。
- ・ 子供の保育費を無料に。
- ・ 保育園を増やす、保育時間を長くする。常に相談できる人が決まっている。（あなたのヘルプは私が担当みたいに）常に相談できる人が決まっている。（あなたのヘルプは私が担当みたいに）
- ・ 保育所の充実、病院の整備。
- ・ 産休が一年くらい必ず取れる。公立の保育所・幼稚園を増し無料で入れるようにする。
- ・ 出産育児金の支援、事業所内保育。
- ・ 出産費用の補助（手当）や保育所が入りやすいようにする等、子育てが安心して出来る環境作りを行えば良いと思う。
- ・ 保育しやすい環境。
- ・ 金銭的支援、地域の支援。
- ・ 経済的負担、職場が少ないため。
- ・ 経済的援助。
- ・ 安定した仕事と収入。（石巻は特に安く仕事がない）
- ・ 女性が子供を産み、就学時期まで子育てを行った後に、また社会復帰できるシステムがあれば女性は結婚し、子供を生み育てて行けると思います。
- ・ わが家は両親の応援で。
- ・ 学費支援、精神面でのサポート。
- ・ 育児休暇（有給で一年半位は欲しいです）・保育園（有給で）1年位は欲しいです。
- ・ 社会・地域・職場現況が子供を育てるのにいろいろと考えて欲しい。石巻のできることから支援してほしい。石巻の出来ることから支援してほしい。
- ・ 大自然の中で生まれている生物、人間として自然の摂理にしたがって子孫の繁栄の道筋を歩むことの大切さを感化される（家庭・学校・社会）の環境づくり教育の推進が大切かと思われまます。
- ・ 経済的負担が増えるから、収入面で援助があれば良いと思う。
- ・ 教育にかかるお金の負担を軽減してほしい。
- ・ 保育所を増やす（0才児から）。保育費医療費の援助。育児休暇をとれる環境。保育費・医療費の援助。育児休暇をとれる環境。
- ・ 医療費の無料化。
- ・ 高校までの義務教育・医療費の無料、児童手当の充実など、子供を育てる上での金銭的な援助、児童手当の充実、高校までの医療費の無料など、子供を育てる上での金銭的な援助。
- ・ 保育所が少ない。時間外保育所があると良い。夜勤や夜の仕事をする女性も多いし。夜勤や夜の仕事をする女性も多いし。
- ・ 子供と遊ぶ公園及び駐車場がない。この車社会に有料駐車場では利用する気にならない。南境の運動場のムダさに泣けてくる。この車社会に有料駐車場では利用する気にならない。南境の運動場のムダさに泣けてくる。
- ・ 出産費の軽減。通院費、診察代の低料金。通院費・診察代の低料金。
- ・ 保育所等機関の充実。
- ・ 産休後、育児後再復帰できるような会社や事業所が多くあると良い。
- ・ 経済的負担を軽くと思いますが、親離れ・子離れしない母親が多い。
- ・ 子供手当や、教育費の負担軽減などお願いしたいです。
- ・ 育児・子育てに理解のある職場づくり。ボランティア（中・高年者の支援。子ども・母親が病気になったときの公的支援。子育てボランティアによる（中高年者の）支援。子ども・母親が病気になったときの公的支援。
- ・ 日本の将来を考える意識改革。強力な政治の主導。強力な政治の主導。

- ・働く環境を整える。
- ・保育所。
- ・幼児期の設備充実。母親に出産によって受ける諸問題の企業等の考えのずれ。
※母親に出産によって企業等の考えのずれ。
- ・子育てに安心できる環境が一番。（仙台市のような保育所数の）問題などのような事が無いように市独自に支援など。（予算が無いかな？）問題などのような事無いように、市独自に支援など。（予算が無いかな？）
- ・産前産後休暇が取りやすく、かつその後の職場復帰がよいであるようにすること。学齢の子どもが放課後や土曜日に有意義に安全に過ごせるようにすること。学齢の子どもが、放課後や土曜日に有意義に安全に過ごせるようにすること。
- ・働く親にとって、育児休暇や、子供が病気のとき等安心して休める様な職場の体制。
- ・安心して出産できる医療施設と保育施設。
- ・小さい子供を持つ家庭にばかり支援するのではなく、高校生大学生を持つ家庭の負担は子供の人数が多いほどとても大きいので、教育費の負担を減らして欲しい。子供の医療の充実(妊婦も)
- ・仕事を続けるにあたり、保育所をもう少し増やしてほしい。
- ・金銭的な支援や、育てるときにいろんな施設があったら良いとおもいます。
- ・経済的支援。
- ・病時保育。（少し熱があっても預けられないのでは働けない）土日祝日の保育所。（平日のみなんて現代と合わない）市立保育所の保育料の値下げ(何のために働いてるのかわからないほど高額)
- ・就業所内に保育所があり、休憩時(昼食を一緒に取れる)また、低学年の児童保育所を兼ね備えてもらえると望ましいと思います。
- ・産休をとってもスムーズに復職できるようにする。妻が仕事を辞めざるを得ない場合でも今まで得ていた収入がなくなるので、なんらかの形で補償する。
- ・～才までは医療費無料。3人子政策。3人目生まれたら100万円の補助金。
- ・産婦人科での保険適用、出産祝い金などを増やす。保育所を増やす。
- ・子供と過ごす時間を多くするために、金銭面での援助を拡大して欲しい。（特に母子家庭）
- ・助成金などを増やす。
- ・現在石巻の収入が低いのに子育てにかかる金額が多いと思う。子育て支援を増やして欲しい。
- ・税金の軽減など、金銭面での支援。
- ・学童保育の申請が通りにくいので、若い夫婦の方々の為に一考してください。
- ・やっぱり夫です。夫が元気に明るく、家族を支えてくれることです。（稼ぎがあっても、経済的にも、精神的にも妻を支援してくれることです。）つまり、働く人がちゃんと認められて働ける社会を作らなければ？
- ・保育所を増やす。
- ・経済的支援。地域のつながりをもてるように。
- ・就業の待遇や（子供の病気で休んだときなど）社会慣習が変わらないとだめだと思う。
- ・定額給付金を毎年やる。
- ・働く女性の為、職場での育児（保管）施設がたくさんあればよい。
- ・経済的支援。
- ・出産費用や子育てにかかる費用、そういった高額な費用への負担軽減になるような支援が最重要と考えます。
- ・子供、子育てにかかる費用が安くて、良い教育が受けられれば良いと思う。公立の幼稚園の質が低い。
- ・子供の医療費、養育費の支援。
- ・業務、教育中は、教育費の支援。小児科、医療費の支援。雇用拡大。
- ・当事者に聞いたほうが良いのでは？
- ・気軽に育児の相談が出来る場所があったり、またいつでも、リトミックや絵を描いたり、スポーツの出来る施設があれば良いと思います。
- ・保育所の充実と、短時間預かりの両面を充実させる。教育にかかる費用を軽減する。
- ・身近な所に託児所を増やす施設が必要。
- ・子供の教育費にかかる経済的負担が大きく大変だと思いますので、その支援が大事だと思います。
- ・親、大人の立ちのモラルの指導。遊び場を増やす。保育士（学校の先生）の育成補助。
- ・子供の急な病気のときに預かってもらえる等。

- ・ 経済的負担を軽減して欲しい。たとえば乳幼児医療費助成をもう少し長くして欲しい。
- ・ 夜までやっている幼稚園、保育園をたくさん作る。育児の為の補助金等を自治体が出し、支援する。
- ・ 自分が病気の時など、一時的に子供を預かってくれる場所があればいい。
- ・ 乳幼児のお母さん方が集まり子供と一緒に遊んだり、お母さん方が話したりする場所があればいいと思う。(コミュニティーセンターなど)
- ・ 安心して子供を預けられる保育所がある。プラス医療施設がある等。
- ・ 学校等の教育費を負担してもらえ、支援金をもらえる。
- ・ 出産費用を全ての人に対して無くす。養育費を増やす。
- ・ 経済的な支援…お金の面と医療の面の充実。
- ・ 子育て支援システムの充実できる社会システムに国全体でし、安心した生活が出来たらいいと思います。
- ・ 気軽に一時預けられる所があるといい。
- ・ 子供が小さいときは手がかかるので、自分で見ることが出来るような支援があったらいいと思う。(会社や福祉の両方)
- ・ 一人の子供にかかる費用が多いので義務教育を高校までにしたら、安心して二人以上産めるのではないのでしょうか。
- ・ 医療費の自己負担を一割程度に…0割ではコンビニ受診につながると思います。他保育料、学費の軽減。
- ・ 子供が病気になったら預かってくれるところや、会社に理解があって休めるようにしてくれるところや男性も女性と同じように有給休暇を取れること。
- ・ 保育所の増設。
- ・ 保育所・幼稚園等の料金が安くなるような支援。
- ・ 経済的支援。
- ・ 保育の充実が必要かと思われます。
- ・ 保育所・保育園の費用助成。(共働きは負担が大きい)
- ・ 教育費の免除。
- ・ 早期改善が期待できないので書く必要なし。
- ・ 育児手当や出産手当の増額など経済的援助。
- ・ 子育ての相談が出来る場所などあるといいと思います。
- ・ 働くにあたって、気軽に預けられる(心配なく)所があるといい。金銭的にも負担が少なくなるように。
- ・ お金。養育にお金のかからない社会。
- ・ 今は塾に言っている子も多く、わたくしの子も学校の勉強についていけなくなり、塾に通い始めました。塾のお金もかなりバカにならないので教育費等の援助があればいいと思う。
- ・ 国からの金銭的支援。
- ・ 保育施設の無償化。
- ・ 問15にも書いたが、健全なる子孫繁栄無くして、自分の存在も有り得ない、各自の意識の問題、即ち教育。
- ・ 金銭の支援しかないと思います。
- ・ 男性の収入を多くする。教育のしかたを再検討。男女の就業時間短縮する。
- ・ 通院ごとに補助金。
- ・ 母親の置かれている環境を理解し、共に共感し支え合える人間関係を築けるようなサポートに加え医療や教育に対する経済支援の確保。極単な話、高卒まで義務教育したり、小中レベルで食育を徹底して体作りを重視するとか。
- ・ 1人子2人子ではなく昔のように沢山産んで伸び伸びとだれとでも会話出来る子供達を皆んなでささえて犯罪のない石巻になればよいと思う。
- ・ 男だけの収入で生活出来ない現状と裕福な家庭をエンジョイしたい風潮があるのでは？
- ・ 会社一つにつき、一つの保育所設置義務化。
- ・ 安心して働けるため保育所を増やし、子どもを見てもらえるような支援をしてほしい。
- ・ 仕事をしている人には、育児休暇の制度があればいいと思う。又、乳幼児を受け入れてくれる施設の充実が必要と思う。
- ・ 金せん面での助成。
- ・ 託児所、保育所等の施設の充実、職場の理解。

- ・ 3歳までの手当は厚くなっていますが、子供にお金がかかる（特に病気（幼稚園に入園すると増える）等）ので、6歳以降の病院での支払を2割負担にしてほしい。子供が伸び伸び遊べる場（遊具の多い公園等）を増やして欲しい。
- ・ 経済的支援がもっとも必要だと思います。
- ・ 保育所など子供をあずける所を増やし、そしてその保育所に入園できたとしても子供がちょっと熱があったり、元気がないとすぐ会社に電話が来て早退したり休まなければならない。ようするに安心してあずける所がないという事。
- ・ 子供に対しての市からの補助金等を考えてもらいたい。
- ・ 経済的な支援。
- ・ 保育所、託児所、預ける方も預かる方も信頼をもって負担を軽くする。
- ・ 出産費用の軽減。
- ・ 経済的支援及び子供を育てやすい環境づくり。
- ・ 経済的（医療、交通、教育、文化、福祉等）及び再就業。
- ・ 経済的負担が減るとよいと思う。
- ・ 専業主婦に手当を。
- ・ 経済的支援。
- ・ 会社や社会がもっと子どもを産むためのフォローを充実させる。
- ・ 子供が将来地域で生活できる様就業の場がほしい。
- ・ 必要以上に支援する必要なし。甘やかす事ない。
- ・ 児童手当を引き上げ、出産費全額無料。
- ・ 一人でがんばらずみんなに手伝ってもらおう。気軽にたのめる施設や支援があると良いと思います。
- ・ 見てくれる人が必要。
- ・ 保育所の充実と働く女性の時間帯等で、少しでも考えてほしい。
- ・ 出産や保育にかかる金銭負担が軽減出来るような支援が必要。
- ・ 小学校まで医療費をただにする。
- ・ 学費の援助。公立の託児所、幼稚園の増。
- ・ 託児所、幼稚園を気軽に低料金で利用できる。
- ・ 室内の公共施設があるといいです。例えば、雨や風や冬でも親子で絵本を見たり、体を動かす遊具があったり、子どもが遊べる体育館の（すべり台、ボールペン、トランポリン等）ような施設。神戸のこべっこランドのような施設。
- ・ 生活するために必要な支援金など。
- ・ 金と心の支援。
- ・ 安心して産める参院を増やす。産前産後の指導、アドバイスをしてくれる人がいたら良いと思う。
- ・ 子育て中のお母さん達が時々気晴らしできるよう（預けるところがない場合）低料金で預かってくれる施設が増えると良い。
- ・ 経済面を危惧する余り、少子化に走っている一面があると思います。（経済支援）
- ・ 仕事をしている間など子どもを見てくれる人や施設があると良い。まだ働くことができる高齢者の方々に子育てを支援していただきたい。
- ・ 子どもを育てる社会環境をととのえる。（産休・育休）経済的援助をふやす。
- ・ 中学卒業まで学費、医療費を免除してほしい。
- ・ 子育て支援医療費助成制度は、小学校入学までではなく義務教育の間とするべき。
- ・ 子育てしやすい社会環境をつくる。
- ・ 保育所を充実してほしい。職場でもゆうずうしてほしい。
- ・ 夫の経済力を含め子育てへの協力、家族の協力そして社会環境。
- ・ 経済的な支援はもちろんのこと、仕事をしていても安心して子供をあずけられる所が少ない。
- ・ 地域内での昔ながらの交流など多くする。
- ・ 近所に相談できるおばちゃん（昔みたいに）ちょいあずかりボランティアしてくれる人がいれば。むずかしいですね。（責任とか・・・）
- ・ 出産費用の無料、教育費を安くする。
- ・ もっと助成金や妊婦検診に保険がきくといい。
- ・ 費用の援助。

- ・ 問15の1、2のことが支援があればと思います。
- ・ 働く親の勤務時間帯が多様化しているので、それに合わせた保育園の時間設定を考える。あるいは子供が病気した時にあずかってくれる様な場所があれば働きながらも子育てができるのでは。
- ・ 男性一人の収入で産み育てやすい社会。
- ・ 税金を安くする。
- ・ 子どもを産んだ時や育てる時の経済的負担がなければいい。
- ・ 母親同士でコミュニケーションが取れるようなイベント等の案内を郵送で知らせてくれるような支援。
- ・ 親と子供の休日が同じでない場合の子供の安心してすごせる場をきちんとしていたらいいと思います。
- ・ 高校まで教育費の無料化。
- ・ 経済安定、結婚増進、産み育てる社会環境をよくする。
- ・ 家族の協力や地域の協力が欠かせないと思います。
- ・ 子どもを育てる人への金銭補助。未婚で出産することへの偏見をなくしていく。
- ・ 15歳までの養育費。
- ・ 特に男性の結婚しない人が多い。まずこの問題から。
- ・ 経済的な問題が大きい。仕事を続けながら育児ができる環境が必要。例えば、近接する会社や事務所等で共同で託児所をもつことを推進・支援すること。
- ・ 公的医療と公的子育て環境の完備。
- ・ 子供手当。（中学校卒業まで学費無料化）
- ・ 保育園等の施設の充実。職場でも協力。経済的支援。
- ・ 託児所等を増やす。
- ・ 母親の働く時間（どうしても残業しなくてはならないなど）を気にせず、子供を預かってくれる施設が充実していたら良いと思います。
- ・ 安心して働ける。保育所の充実。
- ・ 保育園等の料金が高すぎると思う。
- ・ 男性の収入が安定し、きゅうりょうで生活が成り立てば助成は安心して子育てができるのではにあてようか。
- ・ 保育料の値下げ。未満児保育を増やす。
- ・ お金と信頼できる育児相談所など。
- ・ 働けるような支援。石巻は親同士の交流の場が少ない。
- ・ 他県を参考にする。
- ・ 子育て支援センターのPRをもっとしてほしい。（市報の1ページに掲載）
- ・ 出産後の職場復帰の保障。保育所の充実と保育料の軽減。男性の育児休暇が当たり前にとれる社会環境。
- ・ 子どもに対する手当てうい増やす。
- ・ 保育施設の充実。
- ・ 保育所整備。
- ・ 保育所の増設。
- ・ 経済支援。
- ・ 保育園の増設。放課後児童クラブの時間延長と増設。
- ・ 支援よりも、自分の小さいころのように、年上の子が年下の子の面倒を見れるよう、子どもが集まれる場（学校以外）があると良いと思います。
- ・ 労働時間短縮。父親も育児できる環境。
- ・ 今は仕事が少なく、給料も安い。これ以上の収入のある社会にしてもらいたい。
- ・ 金銭的支援。施設の支援。
- ・ 保育所等の待機児童をなくす。一時的に子どもを預ける施設の充実。
- ・ 幼児から中学生まで集える場所があれば産み育てやすくなると思う。
- ・ 家庭内での思いやりと協力。学校での道徳教育の重視。
- ・ 保育所の増。保育料を安く。低学年までの子どもの医療費無料化。経済的援助。
- ・ 児童館や公園などを増やし、遊び場の確保。
- ・ 保育料の一律化。

- ・産休期間を長くする。
- ・高校卒業までの授業料の援助。
- ・子どもを育てる費用を国が出す。
- ・育児休暇の延長。
- ・義務教育期間全て無料。
- ・児童手当の年齢を上げる。
- ・病院や医院の充実。
- ・医療費負担軽減。教育費の軽減。
- ・出産費用や検診費用を無料にする。中学卒業まで医療費無料。不妊治療の費用の一部助成。
- ・経済的支援。
- ・経済的支援。
- ・放課後の支援。学費の援助。
- ・子どもを預ってもらえる施設を増やす。
- ・産科医を増やす。産婆の制度を見直す。助成金の増。
- ・保育所を増やす。児童手当の増。女性の働く場の確保。
- ・働きたい母親のために保育所の充実。
- ・育てる本人しだい。
- ・医療費・保育料の無料化。
- ・安心して預けられる場所の増。夜間もあずけられる保育所をつくる。
- ・親世代と同居すれば子どもを見てもらえる。
- ・医療費の助成。児童手当の延長。
- ・支援・支援というが、自分自身の問題(親となった幸福感・世界中であなただけがこの子の親なのだという最高の喜びを思ったなら、子供は親の責任と愛情で育てるべきです。)どんなに苦しんでも(苦しみの程度が判らない。)実は皆頑張ってます。支援必要なし!!
- ・親になる自覚と責任は絶対必要その上での支援は経済的・精神的に。
- ・子供の医療費(出産費含む)、教育費等、義務教育終了まで無料にする。
- ・出産費用を少なくし育児休暇の間も給料の一部を受給できるようにしてほしい。
- ・医療や保育園などの料金など。
- ・仕事をしているので、幼稚園や保育所の延長保育をしている施設を増やして欲しい。石巻市の幼稚園は帰りが早すぎる。
- ・第一子から支援、18歳までしてもらいたい。戦後期みたいに産めよふやせよとしたらいいと思う。
- ・民間でやっている保育園の保育料が高すぎる為、助成制度があれば…。市の保育所の入所条件が厳しすぎる。高所得の場合保育料が高い。
- ・病気のときでも預けられる保育所等。(子供の体調で休むことが出来ない)
- ・育てる社会環境と経済支援を良くする。
- ・児童手当や医療手当等の引きのばしを願う。働く母親が子供達を預ける場所、行政を増やしてほしい。利用料金の額をさげてもらいたい。
- ・低料金で安心して預ける施設。
- ・病院の無料化。
- ・保育所などでの医療の充実。(具合が悪かったりすると働いている時に電話が来て早退せざるをおえない時職場の人達に対して遠慮がある。
- ・家族の方に支えてもらいたい。
- ・子育て給付金が出来ればよい。
- ・まずもって出産費用が高い。通院の際の一回の診察費用も高い。
- ・昔は7~8人は普通にいた。決して豊かではないが周りの環境がそうさせた。経済的に低かったにもかかわらず、子供を多く育てた。このような少人数になったのは自分の意志でないまわるの環境がそうしたので、支援というものではない。
- ・子供を育て手を離れるようになったら、又戻れると良い。子供は親の手で育てたほうが良いと思う。
- ・育児休暇の改善と仕事復帰に際しての就職状況の拡大。
- ・無料の保育施設。
- ・教育施設の充実。

- ・ どの職場にも育児休暇か産休を設け仕事をしながらでも育児が出来るようにすると良いと思う。
- ・ 保育施設の充実。
- ・ 子育て休暇の拡充。
- ・ 働ける所を増やしてほしい。子供がいるので短時間のパートでいいのに市の臨時員はフルタイムが多すぎ。ぜんぜん考えてくれていない。主婦より、独身の方を優先している。
- ・ 職場での出産休暇が取りやすく、簡単に復帰出来たら良いと思う。
- ・ 0才～3才迄預けられる保育所があればと思います。
- ・ 育児手当を増やす。
- ・ 経済的支援、優遇設置など。
- ・ 保育所をもっと増やす。
- ・ 子供1人産むための医療費がかかる。相談する人が近くにいない。経済的な事は他人に話出来ない。
- ・ 若い人達の結婚意識を高める活動に力を入れるべきではないか。
- ・ 養育費援助。
- ・ 出産するまでの費用負担の軽減、子供の保育所、幼稚園等入園費を国が負担する。学校に入るまでの医療費免除、給食費の無料。(お金を支給するのではなく、具体的に保障・補償制度があった方がいいと思います。)
- ・ 単一の支援などで解決する問題ではなく、総合的支援が必要で短期間で解決できる問題ではない。石巻市ではまず、人口減に歯止めをかける支援策が求められている。
- ・ 児童手当とか小学校で終わるけれど、中学生以上からお金がかかるのに先が見えないためだと思う。小さいうちはさほどかからないと思う。
- ・ 共働きが多くなりましたので保育所を少し増やしたら良いと思います。
- ・ 保育料の免除。
- ・ 安定した生活力。(経済のみならず)
- ・ 子育ての支援。
- ・ 給付金。
- ・ 産休、役所関係などは産休が1年あるけど一般企業などはいろいろ働きながら安心して子育てできる環境にする様。
- ・ 高校までの義務教育と無料化、労働基準法の違反への罰則強化。
- ・ 夫の育児参加(家事分担)核家族時代でサポート力が低下しているから、夫にも協力してもらわないと妻の負担が増す。
- ・ 仕事への復帰しやすい環境を整える。
- ・ 経済的な支援と時間的に短期間に利用できる託児所の設置。
- ・ 経済的支援が一番だと思いますが、他に子育ての為に休暇が必要だと思う。
- ・ 学費無料にしてほしい。
- ・ 経済的に余裕があること。
- ・ 経済的に負担を減らす。治安を良くして安心して住める世の中にする。親同士で集まりコミュニケーションを取れる場所を提供する。
- ・ 身近にも30～40代の独身者が多くいます。子育て以前に結婚できる環境づくりが必要かと思います。
- ・ 育児手当。
- ・ 子供に対しての手当などもう少し充実させてほしい。
- ・ 学費などの支援が欲しい。
- ・ 出産までの検診の料金が高すぎる。出産費用も同様。
- ・ お金、保育所の充実。
- ・ 保育料を安くする。会社での育児休暇のとり易い会社の環境を良くする。
- ・ 保育施設を作る。
- ・ 幼稚園や保育園の低料金化。周りの話では「高くて大変なので、子供は一人でもいい」という話をよく聞く。
- ・ 定期診断などは保険がおおりるようになるといい。産むときのトラブルがあった時の保障があるといい。公園が少ない。
- ・ 経済的支援をして子どもを生めるようにした方が良い。

- ・ 経済的な面。
- ・ 保育所の受け入れ体制。（保育料）
- ・ 男性の給料だけで生活できるようになれば問題はなくなる。
- ・ 出産までの費用の完全無料化。各町内単位での子育て教室・サークルの設置。
- ・ 職場において育児休暇後の職場復帰が心配ない様な環境にする。
- ・ 市で助成金が出る。妊婦さんやママ達が集まって情報交換できる場をたくさん設ける。育休を取れない会社が多いので、育休がとれる職場を増やす。仕事復帰しやすい環境づくり。仕事紹介etc…。
- ・ 私の姪の事ですが仙台で働いているのですが、その子の勤めている会社では出産の為の休暇が認められていて出産後10ヶ月後から再び働き始めました。最初は半日勤務が1ヶ月位その後は普通勤務となりました。その様な会社が石巻にあるでしょうか。
- ・ 就業先よりの支援、教育に対する支援。
- ・ 子供を見てくれる施設の充実。
- ・ 私達子供を育てる時代は子供を産むという使命感みたいなものがあってきたので、産むための支援等、現在はあれば良いかな、自分の子と産み育てる心は本人で。
- ・ 保育園を増やす。
- ・ 教員が無責任になり、（サラリーマン化に）親の負担ばかりが多くなり、育てられる子供さんの数に限りがある。
- ・ 安心して子供が生める環境が大切です。一番は経済的な支援出産から10才になる迄育児手当（15万～20万）の支給、その後職場への復帰を可能にする。
- ・ 子育てに関する各種給付金の見直しが必要では？
- ・ 保育施設を増やす。
- ・ 保育施設が狭い、古い。負担の補助、軽減。
- ・ 一時的に無料で預けられる託児所。
- ・ 核家族になり母親も働かねば経済的に苦しくなり子育てするのが大変と思います。学校に入学する迄育児手当が支給されれば親も子も精神的に楽になりいい子が育つと思います。
- ・ 職場の保育所。
- ・ 一時預かり所を作る。相談するところを多く設置する。
- ・ 職場といつでも預けられる保育所や、小学生を預かってくれる場所、提携場所があればいいと思う。小学生でも一人子が多いし家で自営業しているとなかなか外で働けないが、提携している預かり場所があれば働きやすいと思う。
- ・ 子どもが小さい時は、小さいお金しか、かからないが大きくなるとかかる金額も大きくなり経済的に大変なので、高校、大学の時期（期間）がもっと楽になると大変ありがたい。
- ・ 出産費用が高い。
- ・ 医療費等の助成をもって延長するなど。
- ・ 就業しながらの育児や、育児だけに専念したい等の選択肢に応じての支援を望みますが、先ずは希望を言える環境作りを社会全体の風土にしてほしい。
- ・ 経済的負担をなくし、自分のは継続出来な環境整備。
- ・ 経済的な援助があればいいと思うが、国や市からの援助には限界もあるし、強く支援は望みません。それより、それより、子供を心無い人達から守るような安全な生活環境を作っていただきたい。
- ・ 出産。
- ・ 家族の協力と配偶者の協力がとても必要だと思います。私はまるっきり誰の協力も得ず精神的に大変でした。
- ・ 経済支援の拡大。
- ・ 金金金とすべての機関が国民からむしりとるその不安を除きゆきさきに希望を描くことのできる社会創りと思う。
- ・ 仕事場に保育施設がある職場が少ないので職場に対する公的支援があれば保育所の待機児童も少なくなり子供を育てながら働く事ができると思います。
- ・ なんといいってもお金の負担が一番なので子供何人いてもお金の心配がいらぬ様ならいくらでも産める。
- ・ 金銭的に不安にならないような支援。
- ・ 医療費は小学校卒業まで無料、もちろん予防接種も・保育所の数もふやし、料金を低くおさえる・子育て支援の充実。

- ・昔の様に親やおじいちゃんおばあちゃんとの大家族の生活がなくなったので大変厳しい状況なので地域の50代60代の子育て経験がある方々に地域の保育所として助け合って行けたら保母さんが一人入ったらもっと良いと思う。
- ・まず第一に全体の景気が良くなる事。これがなければ何もはじめられませんので、景気が良くなれば全体に余裕をもってすべての支援ができるので。でもあえて言うのであれば学童支援をもっと長く、もう少し金額を上げてほしい。高校まで教育に関する支出をもっとおさえられるような支援が必要。
- ・毎月の育児金2万円ぐらい。
- ・収入が増える為の環境設備。
- ・施設（保育所等）の確保が出来る。
- ・経済的に支援があれば。
- ・就学前の保育サポート。
- ・育休を確実に取ることができること。
- ・経済的負担が軽くなるように、補助金の導入。低料金の託児所。
- ・都市部に住みやすい住居が必要。3人まで育てやすい支援。働ける女性には、保育所を夜まで預けられるように。
- ・①教育である。（子供を産む事に将来不安はない事を伝える）②行政サポート。（保育所を整備する）
- ・家中心の世の中から個中心の社会に移行した現在では支援のみでは効果はうすいと考えます。
- ・保育所等の増設。保育時間の延長・無休等。土・日が休みの仕事に従事している人ばかりではないので。
- ・子供の医療費の年齢制限を小学校未満から中学校未満へと年齢を引き上げる。出産時の費用のたてかえ払いシステムの見直し。
- ・育児休職をもう少し長くし、子供に負担の少ないことを希望。安心して子育てが出来ることができればいい。
- ・生活の豊かさ、人間の対等しき。
- ・保育料の金額を安くする。仕事も土・日は休みで、子供の事を考え、仕事の時間を少なくしたり、かぜをひいた時も理解してもらえる会社にしてもらえば、子供を産もうと思う。出産費用を無料にして欲しい。
- ・子どもを産み育てる社会環境。仕事と育児を両立できる保育所の充実。
- ・保育園の充実。保育料を安くする。
- ・育児相談の出来る無料電話相談（24時間）があると助かる。色々な生活相談もあると良い。
- ・核家族化が定着していますが、親も子も歩みより、3世代同居をしたらどうでしょうか。
- ・子どもを育てる環境が良く、女性が安心して就業が出来る様、子供をあずけるホーム。
- ・子供就学中は負担を軽くしてやる。
- ・急な病気でもすぐ見てくれる人・施設がある。保育所はカゼ熱や腹痛でもすぐ帰される（うつるから）。それでは働けるはずがない。
- ・助成金だけにたよるのではなく、昔の様に内職等家で出来る仕事を増やす様企業を誘致して欲しい。配偶者への仕事のあっせん。親と同居した時に有利になる様な助成金又は税金の優遇処置。
- ・経済的援助や社会環境を充実させてほしい。
- ・手厚い補助。
- ・子供に養育費を支給して下さい。
- ・経済的不安が増えるので、仕事をしようとする。子供は産んで、保育園に入れるようになるまで自分の手で育てられる社会環境でありたいと思います。
- ・分からない。
- ・子育てが分からない人の為に色々な子育てに関する講習を行うなど。
- ・経済的余裕、相談しやすい行政の窓口。
- ・経済的支援。（育児手当、子供手当、医療無料サービス）
- ・①出産にかかる費用を子供を産む前に貸して欲しい。②0才児から入れる保育所をぜひ作って欲しい。
- ・子供を見てくれる人がいる。
- ・地域、企業での支援充実。
- ・保育施設の充実、無認可施設の支援。
- ・育児休暇などの充実。

- ・ 緑豊かな公園、水辺もあり、色々な人々とのコミュニケーション出来る、子供だけでなく大人もリラックスできる。散歩がてら気軽に行ける。
- ・ 働く人達の賃金や労働条件を大幅に改善し、教育費にかかる費用を裕福層と貧困層に分けて改善すべき。東大生の収入は1200万円以上。
- ・ 保育施設を多く。
- ・ 保育施設を安価にして増やす。
- ・ 経済的負担が減れば、親と一緒にいる時間が増え、子供とのスキンシップがとれ、子育てがしやすくなると思うので、経済的支援が必要と考えます。
- ・ 共働きでないと生活が出来ない世の中になったので、子供を安心してあずけられる場所。
- ・ 分娩手当や児童手当などの充実。18才まで支給してほしいです。
- ・ 子供会、PTAなどの親の負担をなくして欲しい。もう一人子供が欲しいと思っていたが、上の子が小学校へ入り、親の仕事の多さに驚き、これではあと一人作ったら、また大変な思いをすと思い作るのをやめました。
- ・ 男女の産休の確立、経済的援助。
- ・ 給付・支援金。
- ・ 出産から小学校に入るまで、医療費はすべて無料にすべき。
- ・ 経済的負担、社会的環境、家族が安心して住める家。
- ・ 子育てのための国からの補助金支援必要です。安心して子育てするため、又進学するためこれからの日本を作るため。
- ・ 経済的な支援をする。
- ・ 子育て支援の充実、国策として具体化。
- ・ 出会いの場を設ける。保育園の充実。
- ・ 子供が3人とか生まれたら支援金を支給する。
- ・ 学費の無料化、成績優秀の場合のみ。
- ・ 小中高校の教科書を、教材費、給食費など学校でかかる費用を無料にし、子供たちがのびのびと勉強し、親の負担を軽くして欲しい。
- ・ 子供を預けるところの低料金。
- ・ 問15の経済的負担の軽減、子育て以外に時間を使えるようなことのうち、行政サイドで出来ることをする。後は夫婦の問題なので・・・。
- ・ 乳幼児施設の増設、施設使用量の補助又は安価な使用量。
- ・ 0歳から預かる所、時間の延長も。
- ・ 子育て手当等々の支援。（拡大）
- ・ 産後負担が安く気軽に子供を預けられる施設があればいいと思います。
- ・ 金銭的な面の支援。
- ・ 医療関係の利用時のアンケート。
- ・ 出産費用の負担を少なく、育児手当を多く。
- ・ 売春防止にもなると思うので、母子家庭の母親のお小遣いも最低限助成してほしい。
- ・ 出産手当等の援助。
- ・ 社会環境が悪いと思います。（職場、保育所等）
- ・ 社会全体の協力。（特に役所）
- ・ 出産費用、補助金の増額、企業の扶養手当の増額。
- ・ 今派遣が多くなり、子供が出来れば仕事を辞めなければならない産んでも、預ける所が少ないので、保育所を増やして欲しいと思います。それに今の保育園は公務員用の保育園になっているのではないかと思うほどサービスが悪いです。土曜日が午前中で終わりとか、夜は6時までとか。私立の保育はその点サービスはいいのですが。（公立の保育園でも交換性で預かってくれたら良いのですが。
- ・ 保育所の充実と保育料が高い。
- ・ 経済的負担が大きいため、お金がかからないように、支援があつたらよい。女性が仕事をしていて、育児などを取って、一時的に仕事を休んでいるときに支援が必要。
- ・ 育児休暇、それに伴う、休暇を、夫婦共々平等に取れる様に。それに伴い会社事態の理解が・・・。働いて、子育ても出来る・・・そんな世の中に。
- ・ 子育てについて色々話が出来る場所があればいいと思う。

- ・ 保育の充実。社会に貢献できる次代の担い手。一人で育児でなく、育自になるような社会環境に。楽しく育児できるように。
- ・ 企業が産業などを進んで提案する、（子育て支援してあげる）出産＝休職＝退職ではなく、出産＝産休＝復職。
- ・ 出産にかかる費用が高すぎるため、共働きしないと、子供を作る育てることが難しいので、支援が不可欠だと思う。
- ・ 経済的支援だと思います。
- ・ 経済的負担を減らす。（給料の増加）
- ・ 出産しても働ける場所があること。
- ・ 女性が結婚し、子どもを産みたいような経済的又は、社会環境がよくなるような支援をする仕組みをする事。
- ・ 保育所の充実。
- ・ 妊婦健診・出産一時金とにかく国の支援は意味がない。
- ・ 保育所など無料にすべき。
- ・ 高校等の共学化して、男子と女子の触れ合いを増やす。男女が話し合える場を作る。
- ・ シフト上、土・日曜日出勤しなければならないので、土・日曜日子どもを預ける保育所を作って欲しい。
- ・ 一般に結婚すれば子どもが欲しいと思うのは当然のことだと思うので、結婚しない女性を増やさず市の方でも婚活を多くして欲しい。
- ・ 経済的負担が少なく病院代とかも高いし、今現在、3歳未満の子どもは月1万支援がありますが、私達の時は、月5千円だったので、結構ひどかったイメージで、なかなか2人目には進めず、学費もかかるので。
- ・ 社会的環境。
- ・ 病氣中でも預かってくれる所があると助かる。（仕事するため）
- ・ 出産費用の負担を増やす。幼稚園や学校の学費を安くする。
- ・ 思いつかない。
- ・ 産休明けすぐから子どもを預かってくれる施設。放課後や学校が休みでも会社営業をしている日に、子どもが安全に過ごせる場所。
- ・ 保育所の数を増やす。労働環境。（労働時間や条件）
- ・ 子どもの医療費と教育費の助成制度。
- ・ 子育て支援をもっと行うべき。（高校までの授業料無料化、中学までの医療費無料化）
- ・ 保育所・幼稚園のニーズに合った整備。手当等の増額。
- ・ 母親が仕事しなくても、子育てできる経済的支援。
- ・ 国からの支援が欲しい。
- ・ 働く女性のために、男性のために託児所の金銭的な支援。
- ・ 子育てサークルみたいなものがあれば良いのでは？
- ・ 産婦人科医師不足の解消などにおける市の対応など。保育所への入所待機の解消。
- ・ 安心して預ける場所が欲しい。保育所をもっと増やして欲しい。
- ・ 経済的支援。
- ・ 就業場所の確保、正社員に採用、人材派遣業等の日雇い労働の廃止。
- ・ 安定した仕事ができる社会。
- ・ 仕事に復帰できる環境。
- ・ 出産費用を全部負担して、子どもを安心して預けられる施設を多く作る。
- ・ 生活支援。
- ・ 今は、出産手当、児童手当などがあり、大変好ましいことですが、個々の家庭経済の状況に応じた支援が大切だと思う。
- ・ 家族とは、わからない。今の大人は結婚して子の親になっても、育て方がわからない。昔の家族もときでもいいから、子ども数人育ててきた人達に関わり、教えられていっては・・・
- ・ 病氣時（子どもが）の一時預かりがあるといいと思います。
- ・ 経験者のアドバイスと行政の経済的支援。
- ・ 経済的支援。

- ・ 出産無料化（病院費）、育児（保育所等）は一定期間全額支援。
- ・ 経済的支援をメインとした事業。
- ・ 経済的な公的援助。
- ・ 低賃金で保育施設があること。
- ・ 経済的支援。
- ・ 支援ではなく環境が大事。
- ・ 気軽に行くに役立つ情報を得られる場・機会を増やす。
- ・ 経済的支援と社会環境の整備。
- ・ 安心して働ける為に保育の備え。小学校の下校後の生活の安全・安心。鍵っ子は心配、かわいそう。
- ・ 子育て支援、保育所や幼稚園の無料化。
- ・ 親となるための教育。
- ・ 近所に託児所などの施設。
- ・ 経済的支援。
- ・ 育児手当の支給年齢延長。
- ・ 親戚や身内が周りにいないので、出産しても仕事しなくてはいけない。自営業の為、子育て経験のある方が近くで面倒見てくれるような制度が欲しい。
- ・ 15歳くらいまでは、経済的支援があったらよい。
- ・ 育児手当金をもっとたくさんあげれば、経済的に余裕が出て、パートやバイト等妻が外で働かなくても良くなる為、子供を産み育てやすいと思います。
- ・ 出産後の補助。
- ・ 誰でもどんな人でも子育てに人の子も我が子と同じように若い人の子育てに手伝いする、先輩主婦との交流会などがあつたらいいと思います。
- ・ 育児休業や介護休業等の制度は整備されているものの、その利用となると二の足を踏むケースが多い。休業中の補償、復職後の立場等。第一に、休業期間中の職場の対応が気になり申請するのに勇気が必要。
- ・ 子どもにかかる医療費や教育費をもっと充実する。
- ・ 経済的援助。
- ・ 24時間対応できる医療・保育の充実。
- ・ 経済的支援があつたらいいと思う。
- ・ 保育所に持たずに入所出来ると良い。
- ・ 3歳ぐらまでは家で安心して育てられるように仕事をしない間の経済的支援。
- ・ 保育所の数を増やし、保育料も安くする。
- ・ 低所得者の保育施設の無料化、小学生まで学費、公共費、医療費タダ、保育施設の充実。
- ・ 出産費用の自己負担を今より少なく、子どもの医療費の免除を拡大する。
- ・ ベビーシッターの介護などの支援があつてもよいのでは。
- ・ 国保、社会保険にかかわらず、育児休職手当などがしっかりと保証されれば良いと思う。
- ・ 経済的支援、保育所等の増設・完備、小児科医の増設。
- ・ 指導者（各部）が居れば良い。
- ・ 社会環境の整備。
- ・ 産婦人科の先生をふやすこと。
- ・ 女性が仕事と子育てを両立できるよう企業側の育児（保育等）の設備、家庭、地域ぐるみでの支援体制が必要と思う。
- ・ 保育所等を低価格で使用できる。
- ・ 雇用の安定と収入の補償が必要。中小企業への支援。
- ・ 保育料の免除対象者の幅を広げることで育児も地域の活性化にもつながると思う。
- ・ ある年齢に達するまで仕事の労働時間を短くするか、週3日程度の出勤にする。
- ・ 男女の出会いの場をもうける。
- ・ 保育所、子供を見てくれる所。（託児所）
- ・ 育児施設とたずさわる人の環境の整備。
- ・ 女性が安心して子を産めるよう政府、自治体は最善の方法を講ずるべきである。
- ・ 仕事に子供をあずけられる保育所などが会社の中にあれば良いと思います。

- ・子どもを多く持ちたい夫婦もあります。私はその一例としてですが、経済的負担不安が大きくつきまわっています。子ども欲しいけどお金がかかる。これを排除する製作。要は安心できる子育て支援が一番。金銭支援、手当金、具体的に言ったらきりがありませんが、金銭的負担を無くせば産む人は増えるはず。
- ・経済的支援。
- ・子供の教育費は小さい頃よりは高校・大学で大きな出費となるので勉強したい子供達への支援を考えて欲しい。
- ・小学校卒業まで医療費を負担して欲しい。
- ・保育園・幼稚園の時間延長。
- ・0歳児から受け入れてくれる保育所。
- ・仕事を持って人なら保育所等の環境が整っていればいい。男性の考え方が協力的であればいい。出産費用の援助と小児科の医師の充実。
- ・育児所、保育所の完備で安心して働ける環境の整備。育児手当の増額。
- ・子育て支援。
- ・産休や育休を正社員でなくてもとれるようにしたら。特に育休の充実を。（金銭的にも、時間的にも）
- ・保育園・高校と義務教育の一環としてルールに乗せたほうが一安心です。
- ・町内会の地域での子育て支援。会館を使って子育て中の主婦やリタイヤした主婦と一緒に語り合える場の提供。
- ・病院（産科、小児科）・保育所・経済とトータルして支援が必要と思います。
- ・子供を持つ親への助成金も大事ですが、保育園などの施設に預ける際の費用を低くしたり、子育てにかかる費用全般を下げる必要があると思います。
- ・共稼ぎの場合は子供を見てくれる人が居ること。幼稚園や保育所の費用を安くすること。
- ・親が家に居て子育てが出来るような支援又は保育園や幼稚園が無料であつたら良い。
- ・経済支援。（子供の医療、授業料、給食費無料化）
- ・一時保育などもっと気軽に利用できるようにする。会社の育休・産休の制度をもっと充実させる。
- ・子供の物が買える助成金チケット。
- ・育児休暇を長く取ることが出来、また休暇明けには、仕事が続けられる環境が保障されること。
- ・出産費用の負担を多くし、その後の医療の面で学校に入るまで無料にすること。多くは病院にかかるのは就学、前が多い事なので。
- ・産前、産後の休暇が取れ、経済的援助があれば。
- ・子育て支援環境の充実→保育所、児童館の整備など。出産、育児手当等での充実→義務教育まで。
- ・経済的に安心して産み育てやすい環境作り。
- ・幼児を預けられる場所、親の交流の場所、親子でいける飲食店。
- ・夫の給料だけで生活が出来、安心してゆっくり子育て出来るように給料に扶養手当を出す。
- ・子供手当での充実、医療費体制の充実、地域の子育てサービス。（保育所、児童館、etc）
- ・金銭面の負担を少なくする。出産費用を少なくする。
- ・児童手当などがあれば、大変助かると思います。
- ・保育施設等の充実を図る。
- ・経済的支援。
- ・給付金。
- ・経済的負担を減らす。
- ・保育園等施設の充実。勤務先からの育児休暇。
- ・保育施設の充実。（保育料も含めて）
- ・子供を預ける場所（低料金で）が、たくさんあれば良いと思う。
- ・義務教育には国の支援が必要。
- ・子育て支援金。（義務教育終了まで）
- ・保育園の増設。それに対する料金の市町村の補助金。
- ・石巻市のファミリーサポートセンターの活動は、若いお母さん達へのお手伝いの事業で良いことですね。困ったときはお互いに少しでも援助し合い協力しましょう。
- ・経済的な支援
- ・子供を産み育てる社会環境を整備する。

- ・ 出産後も安心して働ける環境。
- ・ 仙台のようなサポートセンターの充実。
- ・ 出産手当・育児手当の補助。保育所へは確実に入所できること。医療費（10歳まで）出来るだけ免除。
- ・ 関係施設の充実。
- ・ 支援の必要はない。不平等な感じがする。支援の有無に関係なく子供がほしい人不要な人は考えるのではないか。
- ・ 安心して子供をまかせられるように、子供にかかわる仕事についている。人間の資質と人格を重視してほしい。
- ・ 産婦人科が少ない。（減少している）
- ・ 子供手当（経済的支援）仕事をしながら子育てできる環境の整備。
- ・ 職場を気がねなく休めるよう法制度を整える。
- ・ 福井県のような子供を産み育てやすい環境・支援制度を導入する。
- ・ 出産のため職業を失ったり、自分からやめる場合でも、経済的に苦しくなるため、18歳までは、月々いくらかの支援があったらと重います。親子で沢山の場所で楽しめたり、親同士の意見交換の場があればと思います。
- ・ 保育所の充実 企業内での保育所設置 孤立化しやすい若い母親をサポートする何か 一番は経済的支援かもしれません。
- ・ 医療サービス充実。（小学校卒業まで子供の手当）保育所の待機児童の改善、放課後クラブの充実。
- ・ 女性が職業をそのまま続けて働くとき、保育所等の施設が自由に選べる所が少ないのでもっと良い環境と経済的負担も少なければ気軽に子供を生むことが出来ると思います。
- ・ 子供が小さいうちは仕事もできず、収入がないので3歳くらいまで、または、小学校入学前の子供の手当てをもう少し増やしてほしい。
- ・ 経済的援助。
- ・ 経済的な支援が必要。
- ・ 不妊治療が健康保険で受けられるようにしてほしい。
不妊治療のできる病院が石巻市にあればよい。
出産施設を増やす。
- ・ 出産費用の負担を国からもっと十分に出してもらえればいいのでは、今の出産費用は高すぎる。国の負担は少なすぎる。
- ・ 母親が育児を十分にするためには、経済的な支援が必要。
- ・ 教育費・医療の無料、保育園費の減額、減税。また出産できる病院自体少ない。学童保育6年生まで延長、待機児童ゼロ。
- ・ 育児サービス(時間帯、病気の子供の預かり等)職場での配慮。
- ・ 支援よりも、義務教育の段階で家族のあり方、大切なことを考える。先祖があって今があるということ、一目先のことですよ。長い目で解決しないと思う。支援はキリがないので・・・。
- ・ 産婦人科への通院費無料。
- ・ 女性の仕事と育児の両立支援なら何でも良い。
- ・ 託児所完備の職場を増やす。保育所入園料金を低くする。
- ・ 子供を見てもらえるところがなかなかない。お母さんも働きたいのになかなかない。
- ・ 経済的に豊かにし働きやすく職場の中に保育の場があること。
- ・ 保育所等増やす。
- ・ 0歳からの保育施設が必要。
- ・ 子供だけではなく親(父・母)も人としての道徳感なり親としての規範などについての講習を開き受講する。
- ・ 金銭的な支援。
- ・ 保育所(日、祝日、夜間営業)を増やす。(月～金曜日勤務なんて役所くらいですよ。)
- ・ 子供を好きになることと自分にあった能力と経済でやったほうがいいと思います。
- ・ 生後1歳未満の子供を安心して預けることができる公的施設を望みます。
- ・ 夫や父母の協力を希望します。
- ・ 経済的援助と病院の充実。自分の娘も里帰り出産を受け入れてもらえなかった。
- ・ 個々の人間の力を必要とする社会の構築。

- ・ 就学までの経済的負担。(育児のため仕事を離れざるえないが、復帰後もきちんとした仕事を保障してくれること。
- ・ 出産費がかからない。経済的負担。私は、40歳で子供を産みました。でも父は56歳で病気になり年金生活です。苦しいです。税金を取られ、生活苦で中2の子供を育てています。働きたくとも働けない父。病人と子供、私は働いています。苦しいです。税金取らないで。
- ・ 老後のためを考える指導。円満な三世同居の進め。
- ・ 経済のゆとり。仕事先の理解度。
- ・ 働かない人にも働く人と同等の待遇があればいいと思う。(学童保育等働く人の方が待遇がよく、楽しんでくれると思う。)
- ・ 子供が欲しい人のサポート(高齢妊娠、不妊治療補助)の手続きを簡素にした制度の充実、保育施設の充実と費用の負担。
- ・ 働く為に定時以降の延長時間。(例・5時までを定時だとして、その後の延長(迎えに行くまでの)
- ・ 二世帯が住める世に家庭生活の基本を確立する教育。(今のバラバラの生活では無理)
- ・ 育児手当の増額と育児施設を会社に設ける。
- ・ 行政の支援より、家族の支援が一番！お産代が50万かかるというが、後で戻ってくると言っても用意するのも大変のようです。先にその費用を出してはいいのでしょうか？
- ・ 子育てはしてみないとわからないのでアドバイスしてくれる人がいるといいですね。離婚もそうですが夫婦とはどういうものかアドバイスしてくれる人がいるといい。
- ・ 経済的な支援と、自由な時間(子育て以外)がもてること。
- ・ 生活保護家庭のずるい実情を把握し、自分で生活し、子供への責任を持たせるため親の教育を重視する。
- ・ 経済的支援。
- ・ 出産に関する費用の補助(出来れば無料)医療費の補助が長くあるといい。公園や支援センターの充実保育所の増加。
- ・ 職場環境を子育てしやすいようにしてくれるといいとおもう。
- ・ 経済的な員担産休もあるだろうが、助成金も今の時代だ。就職の窓口も広げて欲しい。保育所も助成し働けるようにする。、就学後も給食費払えない子もいると聞く。
- ・ 義務教育中の家族機能、育児方法の教育制度。
- ・ 中学3年生まで医療費無料。高校授業料無料。児童手当現在の月5千円では全然足りないと思う。
- ・ 大学(私学)授業料をさげる。(高すぎる)
- ・ 国をあげて経済的子育て支援をしてほしい。